

夕張市

せわずき・せわやき隊
(すきやき隊)
(読み聞かせボランティアひなたBOOK☀)

目的

夕張の子どもたちの読書活動を支えると共に、図書コーナーの運営をサポートする。

| | |
|----------------------------------|----------|
| 結成 平成19年5月15日 | 隊員数 31 名 |
| 主な構成団体 読み聞かせボランティアひなたBOOK☀ (ぽっこ) | |
| 隊員構成の傾向 30代から80代の主婦 | |

活動実績

【日常活動】

- ・おはなし会
- ・小学校朝 10 分間の読み聞かせ
- ・乳幼児健診会場での絵本の読み聞かせ
- ・託児
- ・育児教室で 1 歳未満の赤ちゃんとお母さんと共に、手遊びと絵本の読み聞かせ
- ・老人福祉施設での紙芝居・読み聞かせ
- ・図書コーナー掃除・本の整理
- ・小中学校図書室整理

【事業活動】

- ・図書まつり企画・運営
- ・道立図書館協力による小学校ブックフェスティバル

成果・課題など

【成果・効果】

- ・乳幼児から高齢者までを対象に読み聞かせ活動をすることにより、幅広く本に親しんでもらう。
- ・乳幼児健診や育児教室での読み聞かせは家庭での読み聞かせにつながる。

【課題、今後の展開】

- ・勉強会、研修会の開催・参加によって、読み聞かせのプログラムをもっと充実したものになりたい。

※問い合わせ先 夕張市図書コーナー 電話：0123-56-6601

参考資料

○活動の様子



図書まつり



小学校で朝の読み聞かせ

美唄市

びばい せわすき・せわやき隊 (すきやき隊)

目的

びばい せわすき・せわやき隊は、地域における子どもや子育て家庭を育み、応援するボランティア活動を推進することにより、地域の子育て力の向上を図るとともに、子どもとのふれあいや子育ての喜びを分かちあえるまちづくりに貢献する

結成 平成19年3月29日(再結成)

隊員数 81 名

主な構成団体 美唄市老人クラブ連合会、美唄東地域青少年指導対策会 美唄婦人団体連絡協議会
美唄女性会、民生委員第5方面

隊員構成の傾向 子育て経験者、各団体構成員、民生児童委員・主任児童委員、会社員、保育士、市職員等

活動実績

【事業活動】

| | 参加者数 |
|--|--------|
| 【平成24年4月25日】 びばい せわすき・せわやき隊全体会(総会) | 29名 |
| 【平成24年5月7日~5月11日】 一斉見守り活動(登校時) 市内15カ所で実施 | 延べ159名 |
| 【平成24年6月~9月】 各校区で自主的な見守り活動 | |
| 【平成24年8月3日】 中央小学校区世代間交流事業「グー・チョコキ・パー」遠足参加 | |
| 【平成24年8月4日】 美唄歌舞裸まつり 地域安全パレード参加 | |
| 【平成24年8月7日】 東地区めだかの学校 遠足参加 | |
| 【平成24年10月9日~12日】 一斉見守り活動(登校時) 市内15ヶ所で実施 | 延べ126名 |
| 【平成24年10月13日】 中央小学校区世代間交流事業「グー・チョコキ・パー」親子クッキング参加 | |
| 【平成24年11月10日】 東地区めだかの学校「家族でクッキング」参加 | |
| 【平成25年1月11日】 中央小学校区世代間交流「グー・チョコキ・パー」参加 身体を使った外遊び | |
| 【平成25年1月19日】 世代間交流「東地区めだかの学校」参加 | |
| 【平成25年1月20日】 びばいっ子フェスティバル2013 参加 | |
| 【平成25年1月29日】 東小学校集団下校訓練の見守り | |
| 【平成25年2月28日】 東小学校1年生と昔遊び | |

成果・課題など

○成果・効果など

会員数は若干減少してきているが、春と秋の一斉見守りや自主的な見守り、世代間交流事業への参加を継続して行っているほか、H24年8月には、美唄歌舞裸まつりで行われた「地域安全パレード」に初めて参加し、地域住民への認知、周知を図る取組を行った。

○課題、今後の展開など

団体登録をいただいた企業等との具体的な連携について引き続き検討していく。

※問い合わせ先 美唄市保健福祉部子ども未来課 0126-62-3147 (直通)

赤平市

せわすき・せわやき隊 (すきやき隊)

目的

赤平市せわすき・せわやき隊は、将来に向けて活力ある地域づくりを持続的に進めていくためには、市民の力を結集して子どもを生き育てる環境の整備を図ることが必要であり、市民参加のもとで子育て支援に係る様々な取り組みを推進し、少子化対策を総合的に進めていくために「赤平市せわすき・せわやき隊」を結成します。

| | |
|--------------------------|----------|
| 結成 平成 19 年 12 月 3 日 | 隊員数 52 名 |
| 主な構成団体 民生委員児童委員協議会 | |
| 隊員構成の傾向 民生委員・児童委員、主任児童委員 | |

活動実績

【日常活動】

- ・地域の子どもたちへの目配り・声かけ
- ・地域の子育て中の方への積極的な声かけ
- ・関係機関との連携

【赤平市せわすき・せわやき隊 結成会】

- ・日 時 平成 19 年 12 月 3 日
- ・会 場 赤平市コミュニティセンター
- ・参加者 52 名 登録隊員 52 名

成果・課題など

○成果・効果など

日常活動による地域での声かけ活動
地域全体での子育てへの取り組み


○課題、今後の展開など

すきやき隊のPR活動
隊員の募集
統一活動などの検討

※問い合わせ先 赤平市社会福祉課こども未来・医療給付係 TEL0125-32-2216 (直通)

参考資料

○隊員登録証

| | |
|---|-----------------------------|
|  <p>北海道子ども 未来づくり条例</p> | <p>せわずき・せわやき隊 隊員登録証</p> |
| <p>氏名 上記の者はせわずき・せわやき隊に登録されていることを証します。</p> | |
| <p>平成19年12月3日 赤平市長</p> | |

深川市

ふかがわ「せわずき・せわやき隊」 (ふかがわ「すきやき隊」)

目的

地域全体における子どもや子育て家庭を支援する活動を推進するとともに、地域ぐるみの活動として定着を図ることにより、本市における地域子育て力の強化を図る。

結成 平成18年1月24日

隊員数 416名（平成25年9月1日現在）

主な構成団体 民生委員・児童委員、更生保護女性会、日赤奉仕団他一般市民

隊員構成の傾向 上記団体等構成員のほか、高齢者、主婦、公務員など広範囲の市民

活動実績

【日常活動】市内5地区の班編成とし、地区ごとに活動計画を決定。以下は活動事例

- ・子どもの安全見守り活動
- ・地域安全マップづくり
- ・子育て家庭に対する日常的目配り、地域の子ども・親子への声かけ
- ・地域イベント等への参加

その他地域での子育て子育て支援

【事業活動】

- ・平成25年4月5日～12日にかけて、市内各小学校の4月新入学の1年生を対象に、下校時間帯を中心に見守り（声かけ）活動を実施。その他夏休みの前後においても見守り（声かけ）活動を実施。
- ・学校行事へ参加し、子どもたちとゲームなどを行い交流を深める。
- ・市内事業所の団体加入の促進。
市内事業所の団体加入により、市内を走行する事業所車両による見守り活動の実施。
北海道すきやき隊への加入の促進

成果・課題など

○成果・効果など

すきやき隊の設立により、その活動の様子が広報や新聞報道などにより市民に周知され、地域住民による子育て支援への意識が次第に醸成され、安心して子育てができる地域作りの推進が期待できる。

特に子どもの安全を見守る活動が多く取り組まれており、その活動に協力する企業も出てきている。

○課題、今後の展開など

今後、隊員を増やしつつ活動の定着、発展を目指していく。

※問い合わせ先 深川市民福祉部社会福祉課 0164-26-2144（直通）

参考資料

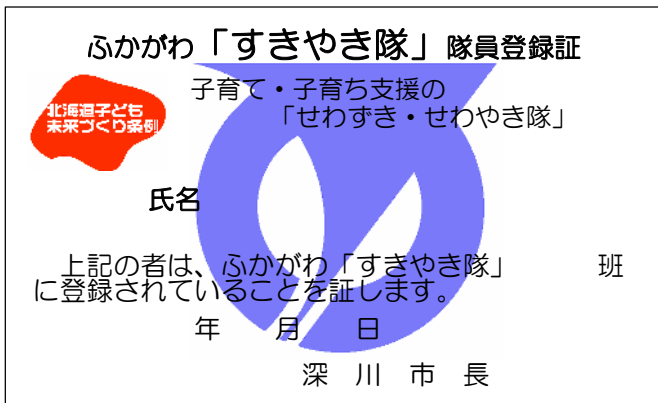
○すきやき隊活動ジャンパー・のぼり



○見守りカード



○隊員登録証



○隊員募集のチラシ



○活動の状況



南幌町

なんぽろ せわずき・せわやき隊 (すきやき隊)

目的

地域の子どもや子育て家庭を支援する活動を推進して、地域ぐるみの活動として定着させることで、南幌町における「地域の子育て力」の向上を図ることを目的とする。

| | |
|---------------|---|
| 結成 平成19年5月31日 | 隊員数 188名、団体1 |
| 主な構成団体 | 民生委員児童委員、子育てサポーター、老人クラブ、ライオンズクラブ、役場職員など |
| 隊員構成の傾向 | 子育て経験者、ボランティア団体構成員、高齢者、公務員など |

活動実績

【日常活動】

- 日々の散歩、買い物などの日常活動を、登下校時間に合わせ、見守りや声かけに向けてもらう。
- 子育てに不安を感じたり、悩んだりする父母等に声をかけたり、話を聞いて、励ます運動を行う。
- すきやき隊のPRと犯罪抑止のため、会員証、帽子、ベストを着用する。

【事業活動】

- 交通安全運動期間中での見守り・声かけ
春の交通安全運動時 4月6日、9日～13日 (6日間)
秋の交通安全運動時 9月21日、24日～28日 (6日間)
- 道民育児の日での見守り・声かけ
毎月19日に合わせて実施 (10日間)
- 教育委員会・スクールガイド等との連携
不審者情報の共有など。

成果・課題など

○成果・効果など

緑の帽子・ベストを着用することで、一目で子どもだけでなく周囲の人にも認知されて挨拶を気軽に交わすことができる。また、不審者への抑止にもつながっている。

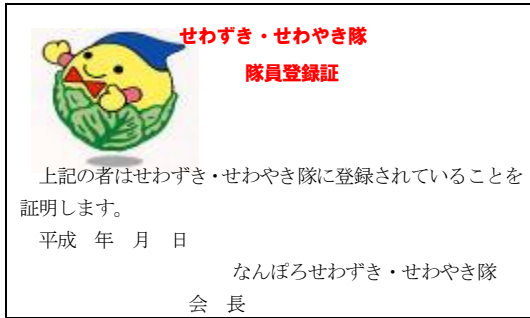
○課題、今後の展開

町民への周知を図り、隊員の拡大につなげること。郊外地区での見守り活動をどう充実してくかが課題。

※問い合わせ先 南幌町保健福祉課 011-378-5888

参考資料

○隊員登録証



○児童生徒の見守りカレンダー（隊員へ周知）



○隊員募集のチラシ



○見守り活動の様子



月形町

せわすき・せわやき隊 (すきやき隊)

目的

地域全体で子どもや子育て家庭を支援する活動を推進するとともに、地域ぐるみの活動として定着することにより、月形町における「地域の子育て力」のパワーアップを図ることを目的とする。

| | |
|---------------------------------------|---------|
| 結成 平成17年11月1日 | 隊員数 50名 |
| 主な構成団体 民生委員児童委員、自治体職員 | |
| 隊員構成の傾向 子育て経験者・ボランティア団体構成員・自治体子育て関係職員 | |

活動実績

【日常活動】

- ・子育て家庭や子どもに対する日常的な目配り、声かけ運動
- ・「せわすき・せわやき隊」の存在と活動周知のため、ワッペン、ネームプレートの着用をする。

【事業活動】

朝の挨拶運動

- ・実施期間 平成24年7月19、20日
平成24年9月26、27日

- ・活動対象 町内小学校、中学校の通学路（2校） 子ども：350名

- ・参加隊員 101名、その他学校職員等：20名

期間中、隊員が交代で通学路に出て児童生徒の見守り、挨拶、声かけを行う。

（隊員は主に民生委員・児童委員）

その他：役場職員が腕章をつけて歩いている。公用車にも腕章を積んで出歩いている。公募はしていない。



通学児童見守りの様子

成果・課題など

○成果・効果など

普段の生活時に蛍光色の腕章着用により、不審者への抑止と子どもへの安心感を与えられている。朝の挨拶運動は他の団体も活動しているので、実施日の調整をはかり効果的な活動の実施がされている。

○課題、今後の展開など

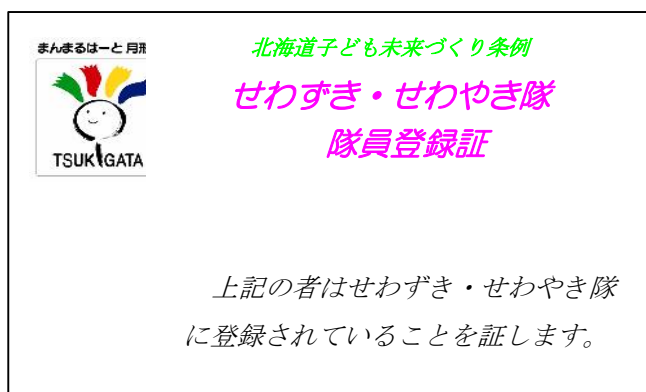
次年度の活動としては、長期休暇前後に挨拶運動を実施し、活動回数を増やし実績と住民浸透を進めていく。

隊員の拡大や隊の周知を図ること。地域又はボランティア団体の類似した子育て活動について、情報交換や連携を図ること。

※問い合わせ先 月形町住民課住民係 0126-53-2323（直通）

参考資料

○隊員登録証



○家屋表示用ステッカー

北海道子ども未来づくり条例

月形町「せわずき・せわやき隊」の家

※略称「すきやき隊」の子育て支援運動

- ・地域のあいさつ運動
- ・子育て家庭への目配り
- ・関係機関への情報提供など

月形町

○活動の様子



秩父別町

NPO法人あおぞら

目的

地域全体における子どもや子育て家庭を支援する活動を推進するとともに、就学児童の放課後の居場所の提供を保護者の母親等有償ボランティアの皆さんと行いながら、子どもたちを見守っています。

結成 平成18年3月1日

隊員数 30名（平成24年4月1日現在）

主な構成員 民生委員・児童委員、PTA役員、元教育長、一般町民

隊員構成の傾向 高齢者、母親など広範囲の町民

活動実績

【日常活動】

- ・子どもの安全見守り活動
- ・子育て家庭に対する日常的目配り、地域の子ども・親子への声かけ
- ・地域イベント等への参加
- ・地域での子育て子育て支援

【事業活動】

- ・平成24年度、生涯学習センターにて、就学児童の放課後居場所の提供
- ・異年齢児との交流（1年生～6年生）
- ・ちっぷっ子ふれあいスクール行事へ参加し、子どもたちとゲームなどを行い、交流を深める。
北海道すきやき隊への加入の促進

成果・課題など

○成果・効果など

秩父別町では、高齢者ボランティアによる登下校時の見守りを行う。
特に子どもの安全を見守る活動が多く取り組まれており、その活動に協力する企業も出てきている。

○課題、今後の展開など

今後、隊員を増やしつつ活動の定着、発展を目指していく。

参考資料

○ すきやき隊活動状況



秩父別町生涯学習センターにて、放課後の時間に、1～6年生の仲良く遊ぶ子どもたちを保護者の母親（子どもたちはパートナーさんと呼んでいます）が見守りながら、過ごしています。異年齢児が集まる中で、自然とリーダーができたりと、学校内とは別の交流が図られています。

沼田町

せわずき・せわやき隊
(すきやき隊)
(沼田町ファミリーサポートセンター)

目的

安心とゆとりをもって子育てができるように、子どもをもつ家庭を地域で支援することを目的として、育児の援助を受けたい者と、援助を行いたい者を組織化し、育児の相互援助活動を支援する。

| | | |
|--------------|-------------------------------|-------------------------|
| 結成 平成18年3月1日 | 隊員数 15名 | まかせて会員 10名 おねがい会員 5名 |
| 主な構成団体 | 子育て支援ボランティア（一般町民）、地域子育て支援センター | |
| 隊員構成の傾向 | まかせて会員は主に、子育てを終えた60歳代女性 | |

活動実績

区長発送によるチラシ配布

成果・課題など

○成果・効果など

○課題、今後の展開など

ファミリーサポートセンター事業の普及啓蒙
料金設定の見直し

※問い合わせ先 沼田町保健福祉課福祉グループ 0164-35-2120 (直通)
沼田町ファミリーサポートセンター (沼田保育園内) 0164-36-2076

参考資料

○子育て支援ボランティア募集などの広報記事、チラシ

子育てを応援して欲しい 子育てを応援してくださる 会員を募集しています

子育てを応援してほしい おねがい会員になるには？

後援住生活課で入会申込書に必要事項を記入していただきます。あわびで生体卵につけての参加費を募っていただきます。
*産から14年経過後までの活躍の保護者なら子ども名義に付れます。
会員証を発行します。

子育てを応援していただける まかせて会員になるには？

後援住生活課で入会申込書に必要事項を記入していただきます。おねがいが実施する諸費を募っていただきます。
*安全確保のためおねがい者が必ず継続していただきます。
会員証を発行します。

援助が必要になったら？

援助金を使いたい日、時期、内容が決まったらおねがいで申請してください。
おねがいで申請を助けてくれるまかせて会員を募って活動をさせていただきます。
※おねがいについて、おねがい会員とまかせて会員が打ち合わせを実施していただきます。
児童がつかない場合はお断りすることがあります。

子どもはどこで預かるの？

子どもを預かる場合は原則としてまかせて会員の家庭において行います。
ただし、子どもが回復期にある軽度な病気その他に力を得ないと認められる場合は、おねがい会員の家庭において行うこともできます。
また、公園などの安全な場所で開催することもあります。

料金の支払は？

活動終了後料金を請求、おねがい会員がまかせて会員に支払います。

補償・保険制度について

事故に備えて、サービスを担持する前に被害保険に加入していただきます。
保険料はセンターが負担します。



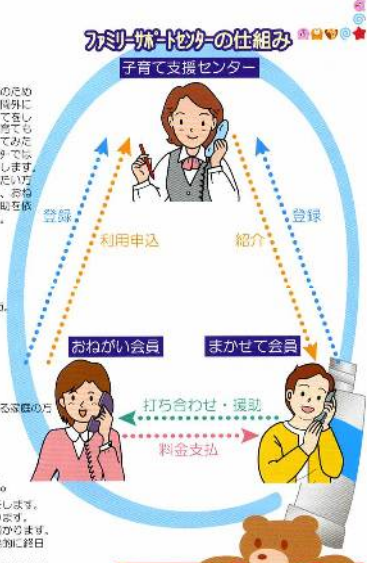
沼田町ファミリーサポートセンター
沼田町南1条6丁目6-30
電話36-2076（沼田保育園内）

ファミリーサポートセンターは がんばるお父さん、お母さんを 応援します

ファミリーサポートセンターの仕組み

ファミリーサポートセンターって？

子どもを育てながら働きたい、ときには夫婦の足場のゆがみをもちたい、保育園が働いているお母さんに子どもを預けたい、こういった希望は子育てをされているお父さんでもお母さんでも、また自分の子どもでも一緒でしたし、今後はいつでも預かろうと思っていきたいと抱いているお母さん、ファミリーサポートではこうしたお母さんの願いをお父さんとして事業を実施します。援助を受けたら（おねがい会員）、援助を行いたい方（まかせて会員）は会員として登録していただきます。おねがいは会員が、センターのアドバイザーを介して援助を依頼し、報酬を支払うという新しい仕組みです。



会員登録できる人

- まかせて会員**
 - ・健康で子育てに熱意と関心のある20歳以上の方。
 - ・沼田町内に在住の方。
 - ・センター主催講習会を受講できる方。
 - ・ファミリーサポートの報酬に賛同できる方。
- おねがい会員**
 - ・1歳から小学校3年生までの子どもを育てている保護者の方。
 - ・おねがいの依頼に賛同できる方。

**ファミリーサポートセンターの会員は
こんな助け合いを行います。**

- ・家庭内保育園の作り及び保育費までの送りを行います。
- ・家庭内でのお迎え及び帰宅後子どもを預かります。
- ・学童保育終了後及び学校の放課後に子どもを預かります。
- ・子どもが軽い病気の場合などに、臨時の、突発的に平日子どもを預かります。
- ・一時保育や延長保育などのときに子どもを預かります。
- ・日曜日や祝祭日などの長寿団が趣味の時に子どもを預かります。
- ・児童がつかない場合はお断りする場合があります。

育児援助の報酬

- ・月～金曜日の午前7時～午後9時までは・・・500円/1時間当たり
- ・上記の時間の及び土・日・祝祭日・・・600円/1時間当たり
- ・夜間の緊急の日の報酬・・・1000円/1時間当たり
- ・交通費（外出請求金等別1回につき）・・・500円

詳しくは
沼田町南1条6丁目6-30
地域子育て支援センター（沼田保育園内）
0164-36-2076
沼田町南1条3丁目6-53
住民生涯健康福祉担当
0164-35-2120
へお問い合わせください。